



消火活動に尽力！～王子消防署より感謝状贈呈～

東京地本援護課総括班長 岡本事務官は、平成29年8月30日、東京都北区内で発生した火災に対し、適切な判断により消火器による初期消火に尽力したとして、王子消防署長 市川博三氏より感謝状が贈呈された。

岡本事務官は当日19時頃、王子3丁目の飲食店前を通りかかり、大量の煙が発生していたのを発見した。店主と客2名が消火活動を行っていたが、危険な状態だったため3名を店外へ避難させ、通りかかりの男性に消火器の確保を依頼し、自身は消火器による懸命な消火活動を行った。

その後、駆けつけた消防隊により、火災は半焼で食い止められた。

岡本事務官は、「負傷者がなかったことは何よりです。しかし、初期消火の方法や消火栓の活用など、消防隊が到着するまでにもう少し出来ることがあったのではないかなと思っています。」と感想を述べた。

なお、東京地本長からも、真に模範たる善行と認められ、合同朝礼時に善行褒章状が授与された。



八王子市制百周年記念イベントで自衛隊が大人気！

～第34回全国都市緑化はちおうじフェアで広報活動を実施～

東京地本（本部長 楠見陸将補）は、平成29年9月16日に八王子市富士森公園において開催された「第34回全国都市緑化はちおうじフェア」に参加し、広報活動を実施した。

全国都市緑化はちおうじフェアは、八王子市制百周年記念イベントの目玉として開催され、市内外を問わず訪れた4万5千人という多くの来場者で賑わった。オープニングセレモニーでは、航空自衛隊中央音楽隊の開会ファンファーレを皮切りに、第11飛行隊ブルーインパルスによる展示飛行を実施し、本イベントに花を添えた。ブルーインパルスの展示飛行は多くのファンや一般来場者の注目の的となり、来場者からは「やはりブルーは最高！」や「八王子市に住んでいて本当によかった。」等の歓喜の声が多く聞かれた。

セレモニー終了後は、多くの来場者が八王子地域事務所（所長 坂本一尉）による広報ブースを訪れ、ブルーインパルスパイロットによるサイン会、第1施設大隊による小型トラック及び偵察用オートバイ等の装備品展示、地本職員による自衛隊活動写真展や制服等の試着を楽しんでいた。特に、ファンの女性からの花束贈呈を皮切りに行われたサイン会においては、500名を超えるブルーインパルスファンが殺到し長蛇の列となったが、航空機整備員による面白トークや記念撮影に待ち時間を忘れてイベントを楽しむ姿が印象的であった。広報ブースには八王子防衛協会の多くの会員が応援に駆けつけ、パンフレットの配布や広報ブースへの誘導等、積極的に協力した。

また、午後からは富士森体育館において、航空自衛隊中央音楽隊による記念演奏会が開催され、ブルーインパルスや八王子市に因んだ曲の演奏で来場者を魅了した。

当日、東京地本長も現地を視察し、広報ブース付近において地本長自ら積極的に自衛官募集パンフレット等の配布を行い、多くの若者に対して職業としての自衛隊をPRした。

東京地本は、今後もこれらの機会を積極的に活用し、自治体及び協力団体の皆様と連携しつつ、より多くの国民に対して自衛隊をPRしてゆくとしている。

